

	<プロ>フェッショナル	<アマ>チュア
1	人間的成長を求め続ける	現状に甘える
2	自信と誇り	ぐちっばい
3	常に明確な目標を指向	目標が漠然としている
4	他人の幸せに役立つ喜び	自分が傷つく事は回避する
5	可能性に挑戦し続ける	経験に生きる
6	思い信じ込むことができる	不信が先にある
7	自己訓練を習慣化	気まぐれ
8	時間を有効に習慣化	時間の観念がない
9	成功し続ける	失敗を恐れる
10	自己投資を続ける	享乐的資金優先
11	使命を持つ	途中で投げ出す
12	出来る方法を考える	できない言い訳が口に出る
13	自分のシナリオを書く	他人のシナリオが気になる

20 数年前、剣道部の遠征で鳥海山（山形県の日本海側にある秀峰）の麓（ふもと）にある遊佐（ゆざ）中学校に行ったことがあります。体育館の正面に掲げてある校訓？「守・破・離」（剣道や茶道などで、修業における段階を示したもの）に驚くと共に、体育館や武道館の広さ、学年ごとにある広いフリースペースとそれを取り囲むように配置された教室。素敵なランチルーム。初めてみたその校舎の作りの斬新さに驚くと共に、剣道部員の強さにも圧倒された記憶があります。「県北の雄たれ 遊佐中」なるスローガンに頷（うなず）きました。

体育館の入り口に「プロとアマの違い」と大書された掲示物がありました。いいなと思い、手帳にメモ（当時は写メなんてありませんでした）。確か、上記の表のようなことを書いていたように覚えています。（違っていたらすみません）

教育に携（たずさ）わるプロとして、禄（ろく）を食（は）み、勢いだけでやっていた時期を終え、管理職となった今、果たして教育のプロフェッショナルと自分は言えるのか？自問自答の日々です。 （7月15日更新）